







G. 「いる」と回答した場合，その人数及び男女の人数をお答えください。  
男女合わせて（ ）人　うち男性（ ）人　女性（ ）人

以下，Q16～Q37（P4～P14）については，採用時の肩書きごとにあてはまるものにつけてください。

該当する肩書きで採用した弁護士がいない場合には，「該当者なし」につけてください。同じ属性（例えば「部門長以上」）にあてはまる弁護士が複数いる場合，それぞれの肩書きの弁護士に対する質問については，人数も併せて御回答ください。

採用した弁護士についての待遇等についてお聞きします。

Q16. 弁護士の採用時の弁護士経験年数はどの程度ですか。肩書き・経験年数ごとに人数を記入してください。該当する肩書きの弁護士がいない場合には「該当者なし」につけてください。

	A. 部門長以上	B. 部門長以外の管理職	C. 非管理職
該当者なし	1	1	1
弁護士経験なし	2（ ）人	2（ ）人	2（ ）人
3年未満	3（ ）人	3（ ）人	3（ ）人
3年以上7年未満	4（ ）人	4（ ）人	4（ ）人
7年以上11年未満	5（ ）人	5（ ）人	5（ ）人
11年以上16年未満	6（ ）人	6（ ）人	6（ ）人
16年以上20年未満	7（ ）人	7（ ）人	7（ ）人
20年超	8（ ）人	8（ ）人	8（ ）人

Q17. 弁護士に採用時まで企業内弁護士としての経験があれば，その年数はどの程度ですか。肩書き・経験年数ごとに人数を記入してください。該当する肩書きの弁護士がいない場合には「該当者なし」につけてください。

	A. 部門長以上	B. 部門長以外の管理職	C. 非管理職
該当者なし	1	1	1
企業内弁護士経験なし	2（ ）人	2（ ）人	2（ ）人
3年未満	3（ ）人	3（ ）人	3（ ）人
3年以上7年未満	4（ ）人	4（ ）人	4（ ）人
7年以上11年未満	5（ ）人	5（ ）人	5（ ）人
11年以上16年未満	6（ ）人	6（ ）人	6（ ）人
16年以上20年未満	7（ ）人	7（ ）人	7（ ）人
20年超	8（ ）人	8（ ）人	8（ ）人

Q18. 弁護士に採用時までには弁護士事務所での業務の経験があれば、その年数はどの程度ですか。肩書き・経験年数ごとに人数を記入してください。該当する肩書きの弁護士がいない場合には「該当者なし」に をつけてください。

	A. 部門長以上	B. 部門長以外の管理職	C. 非管理職
該当者なし	1	1	1
弁護士事務所業務経験なし	2 ( 人 )	2 ( 人 )	2 ( 人 )
3年未満	3 ( 人 )	3 ( 人 )	3 ( 人 )
3年以上7年未満	4 ( 人 )	4 ( 人 )	4 ( 人 )
7年以上11年未満	5 ( 人 )	5 ( 人 )	5 ( 人 )
11年以上16年未満	6 ( 人 )	6 ( 人 )	6 ( 人 )
16年以上20年未満	7 ( 人 )	7 ( 人 )	7 ( 人 )
20年超	8 ( 人 )	8 ( 人 )	8 ( 人 )

Q19. 弁護士の貴社での勤続年数はどの程度ですか。肩書き・経験年数ごとに人数を記入してください。該当する肩書きの弁護士がいない場合には「該当者なし」に をつけてください。

	A. 部門長以上	B. 部門長以外の管理職	C. 非管理職
該当者なし	1	1	1
半年未満	2 ( 人 )	2 ( 人 )	2 ( 人 )
半年以上3年未満	3 ( 人 )	3 ( 人 )	3 ( 人 )
3年以上7年未満	4 ( 人 )	4 ( 人 )	4 ( 人 )
7年以上11年未満	5 ( 人 )	5 ( 人 )	5 ( 人 )
11年以上16年未満	6 ( 人 )	6 ( 人 )	6 ( 人 )
16年以上20年未満	7 ( 人 )	7 ( 人 )	7 ( 人 )
20年超	8 ( 人 )	8 ( 人 )	8 ( 人 )

Q20. 弁護士が所属する部署はどこですか。肩書き・部署ごとに人数を記入してください。該当する肩書きの弁護士がいない場合には「該当者なし」に をつけてください。

	A. 部門長以上	B. 部門長以外の管理職	C. 非管理職
該当者なし	1	1	1
法務部. 課	2 ( 人 )	2 ( 人 )	2 ( 人 )
知的財産部. 課	3 ( 人 )	3 ( 人 )	3 ( 人 )
コンプライアンス部. 課	4 ( 人 )	4 ( 人 )	4 ( 人 )
総務部. 課	5 ( 人 )	5 ( 人 )	5 ( 人 )
人事部. 課	6 ( 人 )	6 ( 人 )	6 ( 人 )
その他 ( )	7 ( 人 )	7 ( 人 )	7 ( 人 )

企業における弁護士の採用状況に関するアンケート調査（2012年度）  
日本弁護士連合会

Q21. 弁護士が担当している業務は何ですか。肩書きごとにあてはまるもの全てに をつけてください。該当する肩書きの弁護士がいない場合には「該当者なし」に をつけてください。

	A. 部門長以上	B. 部門長以外の管理職	C. 非管理職
該当者なし	1	1	1
訴訟代理	2	2	2
訴訟の管理	3	3	3
契約審査関係	4	4	4
取引先等との交渉	5	5	5
株主総会対策	6	6	6
知的財産関係	7	7	7
労働問題関係	8	8	8
ガバナンス関係	9	9	9
コンプライアンス関係	10	10	10
独禁法・規制関係	11	11	11
監督官庁関係	12	12	12
内部通報関係	13	13	13
取締役会等の運営	14	14	14
M&A	15	15	15
商業登記	16	16	16
本社法務部門	17	17	17
営業・顧客関係	18	18	18
その他（ ）	19	19	19

Q22. 弁護士の待遇については、どのように決めていますか。肩書きごとに、あてはまるもの一つに をつけてください。該当する肩書きの弁護士がいない場合には「該当者なし」に をつけてください。

	A. 部門長以上	B. 部門長以外の管理職	C. 非管理職
該当者なし	1	1	1
一般の従業員と同様の社内規定に基づく  この選択肢を選んだ場合、2または3のいずれかにチェックを入れてください。	他の従業員と... 2 同等処遇 3 資格手当で 差異あり	他の従業員と... 2 同等処遇 3 資格手当で 差異あり	他の従業員と... 2 同等処遇 3 資格手当で 差異あり
個別の交渉に基づく	4	4	4
弁護士専用の規程に基づく	5	5	5

Q23. 弁護士に支払う年収（住居手当などを含み，社会保険料，所得税などの引き去り前の金額。ストックオプションや貴社の弁護士会費負担額を含まない。）について，差し支えなければお答えください。なお，回答は最新の年収に基づき，肩書きごとに，おおよその平均的な年収としてあてはまるもの一つに をつけてください。勤務期間が1年に満たない場合は，1年に換算した場合の金額を選択してください。該当する肩書きの弁護士がいない場合には「該当者なし」に をつけてください。

年収（円）	A. 部門長以上	B. 部門長以外の管理職	C. 非管理職
該当者なし	1	1	1
250万円未満	2	2	2
250万円以上 500万円未満	3	3	3
500万円以上 750万円未満	4	4	4
750万円以上1000万円未満	5	5	5
1000万円以上1250万円未満	6	6	6
1250万円以上1500万円未満	7	7	7
1500万円以上1750万円未満	8	8	8
1750万円以上2000万円未満	9	9	9
2000万円以上2250万円未満	10	10	10
2250万円以上2500万円未満	11	11	11
2500万円以上2750万円未満	12	12	12
2750万円以上3000万円未満	13	13	13
3000万円以上	14	14	14

Q24. 通常の給与のほかに，弁護士会費を貴社が負担していますか。肩書きごとに，あてはまるもの一つに をつけてください。該当する肩書きの弁護士がいない場合には「該当者なし」に をつけてください。

	A. 部門長以上	B. 部門長以外の管理職	C. 非管理職
該当者なし	1	1	1
全て負担している	2	2	2
一部負担している	3	3	3
全て弁護士が支払っている	4	4	4

採用した弁護士に対して期待していた能力・現在の満足度についてお聞きします。

Q25. 貴社が採用した弁護士について、貴社として、採用時、特にどういった能力を期待していましたか。肩書きごとに、以下の選択肢から、5つまで選んでをつけてください。該当する肩書きの弁護士がいない場合には「該当者なし」にをつけてください。該当する肩書きに複数の弁護士がいる場合には、全体的な印象をお答えください。

	A. 部門長以上	B. 部門長以外の管理職	C. 非管理職
該当者なし	1	1	1
情報収集能力	2	2	2
状況判断能力	3	3	3
管理能力	4	4	4
企画発想能力	5	5	5
リスク判断能力	6	6	6
信頼構築能力	7	7	7
交渉能力	8	8	8
プレゼンテーション能力	9	9	9
指導・育成能力	10	10	10
情報共有能力	11	11	11
積極性	12	12	12
誠実性	13	13	13
協調性	14	14	14
責任感	15	15	15
ビジネスセンス	16	16	16
法的思考力	17	17	17
幅広い法律知識	18	18	18
業務に関わる 専門的な法律知識	19	19	19
営業能力	20	20	20
その他 ( )	21	21	21



企業における弁護士の採用状況に関するアンケート調査（2012年度）  
日本弁護士連合会

Q26. 貴社が採用した弁護士について、貴社として、以下のうち、特にどういった能力について満足していますか。肩書きごとに、以下の選択肢から、5つまで選んでをつけてください。該当する肩書きの弁護士がない場合には「該当者なし」にをつけてください。該当する肩書きに複数の弁護士がいる場合には、全体的な印象をお答えください。

	A. 部門長以上	B. 部門長以外の管理職	C. 非管理職
該当者なし	1	1	1
情報収集能力	2	2	2
状況判断能力	3	3	3
管理能力	4	4	4
企画発想能力	5	5	5
リスク判断能力	6	6	6
信頼構築能力	7	7	7
交渉能力	8	8	8
プレゼンテーション能力	9	9	9
指導・育成能力	10	10	10
情報共有能力	11	11	11
積極性	12	12	12
誠実性	13	13	13
協調性	14	14	14
責任感	15	15	15
ビジネスセンス	16	16	16
法的思考力	17	17	17
幅広い法律知識	18	18	18
業務に関わる 専門的な法律知識	19	19	19
営業能力	20	20	20
その他 ( )	21	21	21

Q27. 貴社が採用した弁護士について、貴社として、以下のうち、特に今後の向上を期待する能力はどれですか。肩書きごとに、以下の選択肢から、5つまで選んでをつけてください。該当する肩書きの弁護士がない場合には「該当者なし」にをつけてください。該当する肩書きに複数の弁護士がいる場合には、全体的な印象をお答えください。

	A. 部門長以上	B. 部門長以外の管理職	C. 非管理職
該当者なし	1	1	1
情報収集能力	2	2	2
状況判断能力	3	3	3
管理能力	4	4	4
企画発想能力	5	5	5
リスク判断能力	6	6	6
信頼構築能力	7	7	7
交渉能力	8	8	8
プレゼンテーション能力	9	9	9
指導・育成能力	10	10	10
情報共有能力	11	11	11
積極性	12	12	12
誠実性	13	13	13
協調性	14	14	14
責任感	15	15	15
ビジネスセンス	16	16	16
法的思考力	17	17	17
幅広い法律知識	18	18	18
業務に関わる 専門的な法律知識	19	19	19
営業能力	20	20	20
その他 ( )	21	21	21

採用後の研修についてお聞きします。

Q28. 貴社が採用した弁護士に対して、どのような研修(外部研修を含む)を行っていますか。肩書きごとに、あてはまるもの全てに をつけてください(複数回答可)。該当する肩書きの弁護士がない場合には「該当者なし」に をつけてください。

	A. 部門長以上	B. 部門長以外の管理職	C. 非管理職
該当者なし	1	1	1
新入社員研修	2	2	2
法律に関する研修	3	3	3
貴社で要求される業務知識 (法律知識を除く)に関する研修	4	4	4
管理者向け(能力開発)研修	5	5	5
弁護士を対象とした研修 (法律事務所への出向, 法律事務所との 事件の共同受任など)	6	6	6
セミナーへの参加	7	7	7
その他 ( )	8	8	8
研修は行っていない	9	9	9

Q29. 貴社が採用した弁護士について、研修の受講体制はどのようになっていますか。あてはまるもの一つに をつけてください。

- 1 受けるかどうかは、弁護士の自由
- 2 会社からの指示によって受ける研修がある
- 3 その他( )

Q30. 入社後、以下の昇進があった弁護士はいますか。(各肩書きと同等の肩書きの場合も含みます)。次のA, Bそれぞれについて、あてはまるもの一つに をつけてください。

A 「部門長以外の管理職」から「部門長以上」

- 1 いる
- 2 いない

B 「非管理職」から「部門長以外の管理職」

- 1 いる
- 2 いない

採用方法についてお聞きします。

Q31. 弁護士を採用した際の採用方法はどのようなものでしたか。肩書きごとに、あてはまるもの全てに をつけてください（複数回答可）。該当する肩書きの弁護士がいない場合には「該当者なし」に をつけてください。

	A. 部門長以上	B. 部門長以外の管理職	C. 非管理職
該当者なし	1	1	1
自社HPでの求人募集	2	2	2
人材紹介会社による紹介	3	3	3
エージェントによる紹介	4	4	4
他の弁護士による紹介	5	5	5
弁護士以外の知人からの紹介	6	6	6
日弁連の求人ホームページ (ひまわり求職求人ナビ)での募集	7	7	7
その他( )	8	8	8

Q32. 貴社が弁護士を採用した際の選抜方法はどのようなものでしたか。肩書きごとに、あてはまるもの全てに をつけてください（複数回答可）。該当する肩書きの弁護士がいない場合には「該当者なし」に をつけてください。面接を行っている場合、回数についても御記入ください。

	A. 部門長以上	B. 部門長以外の管理職	C. 非管理職
該当者なし	1	1	1
面接 回数を記入してください ( 回程度)	2 ( 回程度)	2 ( 回程度)	2 ( 回程度)
筆記試験（法律知識に関する）	3	3	3
筆記試験（一般常識に関する）	4	4	4
その他( )	5	5	5

弁護士の採用の際における、弁護士の経験・資格についてお聞きします。

Q33. 弁護士の採用の際に、以下について、どの程度重視しますか。A～Eの各項目について、それぞれあてはまるもの一つに をつけてください。

	必要	まあ必要	あまり必要ない	全く必要ない
A 弁護士事務所における勤務経験	1	2	3	4
B 企業内弁護士としての勤務経験	1	2	3	4
C 企業内弁護士以外での職業経験 (正社員, 正職員)	1	2	3	4
D 外国弁護士資格の保有	1	2	3	4
E 外国語能力	1	2	3	4

貴社の弁護士の弁護士活動についてお聞きします。

Q34. 貴社の弁護士が、業務と無関係な事件を第三者から引き受けることは認められますか。あてはまるもの一つに をつけてください。該当する肩書きの弁護士がいない場合には「該当者なし」に をつけてください。

	A. 部門長以上	B. 部門長以外の管理職	C. 非管理職
該当者なし	1	1	1
業務に支障がなければ可	2	2	2
業務に支障がなく無報酬であれば可	3	3	3
会社の個別の許可があれば可	4	4	4
一切不可	5	5	5

Q35. 弁護士会の中には、所属弁護士に対して国選弁護事件や当番弁護事件といった刑事事件を毎年一定件数受任することを義務づけているところもありますが、貴社の弁護士が、こうした国選事件や当番弁護事件を受任することは認められますか。肩書きごとに、あてはまるもの一つに をつけてください。該当する肩書きの弁護士がいない場合には「該当者なし」に をつけてください。

	A. 部門長以上	B. 部門長以外の管理職	C. 非管理職
該当者なし	1	1	1
業務に支障がなければ可（勤務時間中の接見や裁判所出頭も可）	2	2	2
業務に支障がなければ可（勤務時間中については有給休暇の取得が必要）	3	3	3
弁護士会の公益活動義務の範囲であれば可	4	4	4
一切不可（弁護士会から義務免除の負担金が課される場合、企業が負担）	5	5	5
一切不可（弁護士会から義務免除の負担金が課される場合、弁護士本人が負担）	6	6	6

Q36. 弁護士会の中には、所属する弁護士に対して弁護士会の活動（委員会活動など）を義務づけているところもありますが、貴社の弁護士が、そうした弁護士会の活動を行うことは認められますか。肩書きごとに、あてはまるもの一つに をつけてください。該当する肩書きの弁護士がいない場合には「該当者なし」に をつけてください。

	A. 部門長以上	B. 部門長以外の管理職	C. 非管理職
該当者なし	1	1	1
業務に支障がなければ可（勤務時間中の委員会活動などへの参加も可）	2	2	2
業務に支障がなければ可（勤務時間中については有給休暇の取得が必要）	3	3	3
弁護士会の公益活動義務の範囲であれば可	4	4	4
一切不可（弁護士会から義務免除の負担金が課される場合、企業が負担）	5	5	5
一切不可（弁護士会から義務免除の負担金が課される場合、弁護士本人が負担）	6	6	6

Q37. 5年後（平成30年）までに、以下の種類の弁護士について、採用をどの程度お考えですか。肩書きごとに、あてはまるもの一つに をつけてください。

	A. 部門長以上	B. 部門長以外の管理職	C. 非管理職
採用を考えている	1	1	1
採用をやや考えている	2	2	2
採用はあまり考えていない	3	3	3
採用は考えていない	4	4	4
全くの未定である	5	5	5
その他（ ）	6	6	6

**Q42へとお進みください。**

**以下、弁護士が「いない」と回答した方にお聞きします。**

今後の弁護士採用の御予定についてお聞きします。

Q38. 今後、弁護士を採用する予定はありますか。あてはまるもの一つに をつけてください。

- 1 現在募集中
- 2 現在募集はしていないが今後具体的な採用の予定はある
- 3 採用予定はないが、現在検討中である
- 4 関心はあるが具体的に検討していない
- 5 弁護士の採用には消極的である

Q39. 弁護士の採用を検討する場合、採用のために解決されるべき問題点として、次の各項目について、あてはまるもの一つに をつけてください。

- A. 報酬（給与）を含む、待遇の問題（社内規定と合わない、報酬が高い、など）
  - 1 あてはまる
  - 2 ややあてはまる
  - 3 あまりあてはまらない
  - 4 全くあてはまらない
- B. 弁護士に行ってもらえる業務の問題（弁護士にやってもらえる仕事がない、など）
  - 1 あてはまる
  - 2 ややあてはまる
  - 3 あまりあてはまらない
  - 4 全くあてはまらない
- C. 採用時期の問題（現時点で、採用時期が合わない）
  - 1 あてはまる
  - 2 ややあてはまる
  - 3 あまりあてはまらない
  - 4 全くあてはまらない
- D. 雇用期間の問題（弁護士の長期的な雇用が困難、転職への不安がある、など）
  - 1 あてはまる
  - 2 ややあてはまる
  - 3 あまりあてはまらない
  - 4 全くあてはまらない
- E. 他の社員との関係や組織との調和の問題
  - 1 あてはまる
  - 2 ややあてはまる
  - 3 あまりあてはまらない
  - 4 全くあてはまらない
- F. その他上記のいずれにも該当しない問題がございましたら、自由に御記入ください  
( )

Q40. 弁護士採用の際、既に弁護士としての実務経験があることを求めますか。あてはまるもの一つに をつけてください。

- 1 強く求める    2 求める    3 あまり求めない    4 求めない

Q41. 企業内弁護士を採用された場合の当該弁護士の弁護士活動について、現時点での予定ないし考えを教えてください。弁護士を採用した場合、当該弁護士が会社の業務とは無関係の事件を第三者から引き受けることを認めますか。あてはまるもの一つに をつけてください。

- 1 業務に支障がなければ可  
2 業務に支障がなく無報酬であれば可  
3 会社の個別の許可があれば可  
4 一切不可  
5 今後就業規則を精査して検討する

**以下、全ての方にお聞きします。**

Q42. 弁護士会・司法修習に対する希望がありましたらお聞かせください。  
(例：研修について、採用についてなど)

Q43. 本アンケート調査について、御意見がありましたら、今後の参考とさせていただきます  
のでお聞かせください。

質問は以上です。御協力ありがとうございました。  
差し支えなければ貴社の社名及び御回答いただいた方の御所属の部署名を御記載ください。

貴社名 \_\_\_\_\_  
御回答者の御所属部署名 \_\_\_\_\_

なお、本アンケート調査の結果は頭書目的にのみ使用し、貴社名が特定される形での利用・公表は一切いたしません。